

目次

はしがき	i
略語表	vii
序章 2000年の東アジア	1
1 21世紀に向けての新たな期待と不安	2
2 国内問題の対応に追われた東アジア諸国	4
3 安定化の努力 地域協力と大国間関係	6

第1部 トピックス

第1章 南北首脳会談	11
1 歴史的な南北首脳会談	12
(1) 金大中訪朝とその背景	12
(2) 6・15南北共同宣言	18
2 首脳会談後の南北関係	23
(1) 活発化する南北交流	23
(2) 軍事的緊張緩和の兆し	24
(3) 北朝鮮の対南分断工作	26
3 首脳会談の国際的インパクト	27
第2章 米国の国家ミサイル防衛(NMD)計画	31
1 NMD計画の背景と経緯	32
(1) ブッシュ元政権のミサイル防衛計画	32
(2) クリントン政権のNMD計画	34
2 クリントン政権のNMDシステム	37
(1) NMDシステムの概要	37
(2) NMDシステムの配備計画	39
3 NMDとABM条約	39

(1) 冷戦期のABM条約の意義	39
(2) NMDとABM条約の関係	40
4 関係諸国の反応	42
(1) ロシアと中国	42
(2) 同盟諸国の反応	44
5 NMD計画の戦略的意義	46
(1) NMDと米中、米中関係	46
(2) NMDと懸念国の弾道ミサイル	48
(3) NMDと米国の同盟国の安全保障	49

第3章 結束強化を図るASEAN	51
1 自律性喪失への危機感	52
(1) 役割を強化しつつあったASEAN	52
(2) 経済危機と外部勢力の介入	54
2 経済的結束の強化	56
(1) 域内の経済格差縮小への努力	56
(2) 日中韓との協力推進	59
3 政治・安全保障協力の推進	62
(1) 「ASEANトロイカ」制度の創設	62
(2) インドネシア統一への支持	64
4 ARFの現状	66
(1) 北朝鮮の参加	66
(2) 進展しない予防外交	68

第4章 情報RMAと東アジアの戦略環境	71
1 情報RMAとは何か	72
(1) 湾岸戦争とユーゴスラビア空爆に見るRMA	72
(2) 「情報RMA」論の展開	73
2 アジア太平洋諸国の取り組み	75
(1) 情報と戦力の統合を進める米国	75
(2) 米国との相互運用性を模索する同盟国	80
(3) 米国とのギャップ克服をめざす中韓	84
3 地域安全保障への影響	86
(1) 同盟関係の将来	86
(2) 前方展開戦力の将来	87
(3) 非対称戦への対応	88
(4) 情報RMAと日本の防衛政策	88

第2部 各国・地域の情勢

第5章 朝鮮半島	93
1 経済再建のための国内統制強化と国際協調路線 北朝鮮.....	94
(1) 続く経済再建への努力.....	94
(2) 開放の副作用への備え.....	96
(3) 国際社会参入のための積極外交.....	98
2 着実な歩みを続ける韓国内政と外交.....	101
(1) 折り返し地点を迎えた金大中政権.....	101
(2) 実務志向の韓国外交.....	104
3 依然として続く軍事対立.....	109
(1) 経済難の中での軍事建設 北朝鮮.....	109
(2) 未来志向の国防建設 韓国.....	112
(3) 米韓連合防衛体制.....	114
4 成果を生んだ「ベリー・プロセス」.....	117
(1) 改善を見せた米朝関係.....	117
(2) 残された課題 日朝国交正常化問題.....	121
第6章 中国	125
1 共産党政権の苦悩と模索.....	126
(1) 思想政治工作を強化する江沢民体制.....	126
(2) 回復に向かう中国経済.....	130
2 協調と対立で揺れる中国外交.....	133
(1) 中国外交の特徴.....	133
(2) 改善しつつある対米関係.....	134
(3) ロシアとの協調強化.....	136
(4) 経済重視の対日外交.....	137
(5) 南北首脳会談を歓迎.....	140
(6) ASEANへの接近.....	142
3 実力を高める中国軍.....	144
(1) 思想と実力を重視.....	144
(2) ハイテク局地戦への対応.....	146
(3) 組織の見直し.....	148
(4) 装備の近代化.....	150
(5) 重視される軍事交流.....	151
(6) 中国艦船の東シナ海、日本周辺での活動.....	153

4 新政権が発足した台湾.....	156
(1) 陳水扁政権の誕生.....	156
(2) 新体制に移行する台湾軍.....	159
5 硬直した中台関係.....	163
(1) 「1つの中国」原則をめぐる応酬.....	163
(2) 抑制された中台の軍事的緊張.....	167

第7章 ロシア	171
1 プーチン大統領の登場.....	172
(1) 大統領選挙結果と当選の背景.....	172
(2) プーチン人事の特徴.....	173
2 強いロシアの再建.....	176
(1) プーチンの現状認識.....	176
(2) 法秩序の強化と連邦体制の強化.....	178
3 プーチン外交における実利主義.....	180
(1) 新「対外政策概念」の承認.....	180
(2) 東アジア外交の構図.....	181
(3) 中国との実利的な関係を求めて.....	182
(4) 朝鮮半島における影響力回復の模索.....	184
(5) 難しい局面を迎えた日ロ平和条約交渉.....	187
4 新たな戦略環境の中のロシア軍.....	189
(1) 新たな安全保障の指針.....	189
(2) チェチェン紛争とロシア軍改革.....	191
(3) 兵員の削減問題.....	193
(4) 海軍再建の方針.....	193
(5) クルスク沈没事故の余波.....	195
(6) 国防産業の強化問題.....	197

第8章 米国の東アジア安全保障政策 クリントン政権の8年間	199
1 クリントン政権の東アジア戦略の特徴.....	200
(1) 前方展開戦略の維持.....	200
(2) クリントン政権の東アジア戦略認識.....	205
(3) 米国の東アジア戦略の評価.....	208
2 日米関係.....	209
(1) 経済問題をめぐる摩擦.....	210
(2) 安全保障重視への転換.....	211

(3) 同盟管理の必要性	214
3 米中関係	215
(1) 対中強硬姿勢からの後退	215
(2) 「包括的関与」政策の推進	216
(3) 今後の課題	219
4 朝鮮半島	221
(1) 北朝鮮の核開発疑惑	221
(2) 「ペリー・プロセス」	223
5 ブッシュ新政権と東アジアの安全保障	224

第9章 日本の防衛政策

新中期防衛力整備計画	229
1 新中期防が目指すもの 大綱水準の達成と各種事態への対処	231
(1) 新中期防の考え方	231
(2) 新中期防における基幹部隊の見直し	232
2 新中期防の主要新事業	235
(1) 新しい事態に対応する主要事業	235
(2) 主要装備品の取得計画	238
3 今後に向けて	241
補論：現大綱策定までの防衛力整備の歩み	244

コ ラ ム

南北共同宣言	19
ペリー報告書の概要	120
3 講教育	128
3 つの代表	129
クルスク沈没事故	196